

大麻は

国際的に規制されている
危険な薬物なので、
決して手を出さない!!

いま、**危険度**が増しているのは**大麻**です!!

! 若者の検挙者が急増中!

2024年の全国の大麻の検挙者数は、6,078人と近年増加傾向にあります。また、大麻事犯の半数以上が30歳未満の青少年であることから、青少年を中心とした大麻の乱用が拡大しています。

「大麻は身体に悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。間違った情報に流されず正しい知識で判断しましょう。

! 大麻の有毒性

大麻の花や葉に含まれるTHC(テトラヒドロカンナビノール)が、様々な障害を引き起こします。

乱用による影響

知覚の変化
時間や空間の感覚がゆがむ
運動失調
瞬時の反応が遅れる



大麻の
有害性

長く使い続ける影響

薬物依存
大麻への欲求が抑えられなくなる
精神障害
統合失調症やうつ病を発症しやすくなる

! SNSでの薬物の誘いに注意

近年、薬物が密売される手段として危険が拡大しているのがSNS(ソーシャルネットワークサービス)です。SNS上では、違法薬物を意味する隠語や絵文字などを使用して購入を促す内容が多く投稿されています。

SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。

もし、そのような投稿を見たり、誘いを受けたりしても、誘惑には惑わされずに、自分を守りましょう。

出典:厚生労働省「薬物乱用防止読本「健康に生きようパート37」(青少年向け)」



(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

新潟県薬物乱用防止指導員

県内には約400人の指導員があり、地域におけるリーダーとして、薬物乱用防止の啓発活動を支援しています。

No!

オーバードーズは危険です!!

オーバードーズって何?

近年、医薬品の用法・用量を守らずに過剰摂取する行為、いわゆるオーバードーズ(OD)が問題となっています。市販の風邪薬や咳止めなどを大量に摂取することで、一時的に得られる気分の高揚感や安定感を求め、ODに陥る傾向があります。

しかし、医薬品に含まれている成分は過剰摂取により、急性中毒などの重篤な健康被害を引き起こすことがあり、最悪の場合、命を落としてしまいます。

一人で抱え込まないで!

ODの被害は学校、家庭での人間関係に問題を抱える若者に多く見られます。

家庭や友人関係で困っていることがあれば、学校の先生や下記相談窓口につながるなど一人で問題を抱え込まないようにしましょう!



不安、悩みへ対応する相談窓口のご案内

▶県内には、あらゆる相談窓口が設置されており、みなさんの相談に応じています。

- ・新潟県こころの相談ダイヤル ☎0570-783-025
- ・各保健所、県精神保健福祉センター(新潟市外の県内市町村にお住まいの方)、新潟市こころの健康センター(新潟市内にお住まいの方)においても相談に応じています。
- ・新潟県いじめ相談窓口▶▶▶



・新潟いのちの電話 ☎025-288-4343 (もしくは☎0120-783-556)

▶厚生労働省 【まろうよところ】



電話以外にも、SNSでの相談も可能です。

▶内閣府 【あなたはひとりじゃない】



チャットボットを活用してあなたの状況にあった支援を探すことができます。

悩んだ時はひとりで抱え込まず、身近な人や専門の相談窓口へ話をしてみませんか。
あなたの秘密は守られます。安心して相談してください。



みんなで広げよう 薬物乱用防止の輪

道を踏み外さない為に、
踏みとどまる勇氣

No
DRUG
薬物に関する情報は
警察署または110番へ
新潟県薬物乱用対策推進本部

令和6年度新潟県薬物乱用防止用デザイン・マンガ発表会優秀作品
新潟デザイン専門学校 グラフィックデザイン科 加藤 瑚羽紅さん

薬物乱用問題は、現代社会では避けて通ることができないほど、私たちの身近で深刻な問題となっています。
正しい知識を身につけて、
薬物乱用のない社会環境をつくりましょう。
21世紀の地球人として最大の行動です。

6/26 国際麻薬乱用撲滅デー(国連支援募金)

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

新潟県薬物乱用対策推進本部

事務局:新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課/電話:025(280)5187



薬物の乱用とは？

薬物の乱用とは、ルールや法律から外れた目的や方法を使用することをいいます。

覚醒剤や麻薬などは
1回使用しただけでも
乱用にあたります。



乱用される主な薬物

大 麻

乾燥大麻



大麻リキッド



覚醒剤



MDMA



LSD



コカイン



友人や知人から誘われても、 勇気を持ってきっぱり断る！

薬物乱用のきっかけ

薬物乱用のきっかけは、「好奇心」や「不安」、「友達から誘われた」「仲間はずれが怖くて」などの気持ちの面があげられます。しかし、「ちょっとだけなら」「一回だけなら大丈夫」だと思い手を出すと、気づいた時には薬物から抜け出せなくなってしまう。



甘い言葉に騙される



ゆううつから逃れたい



好奇心とあこがれ



グループ意識から

誘われたら、どう断る？



大切な自分を守ろう



令和6年度新潟県薬物乱用防止用デザイン・マンガ発表会優秀作品
日本アニメ・マンガ専門学校 クルップ アラッチゲ ロドリゴ ラジタさん

薬物乱用 Q & A

Q 大麻や覚醒剤などの薬物は体にどんな悪影響がありますか？少しだけなら大丈夫ですか？

A 大麻は害が少ないとの情報はまちがいです。大麻は、幻覚作用や記憶障害、精神異常、意欲・忍耐力の低下などをもたらす、仕事や学校が続かなくなることもあります。また、女性も男性も生殖器官に異常がおこります。

覚醒剤は、一時的に気分が高まり、自信が出て、疲労感が取れたように感じると言われていますが、それは見せかけのものです。効果が切れると激しい疲労感、ゆううつ感に襲われます。繰り返し使用すると、幻覚や妄想に襲われます。

薬物の依存サイクル



Q 薬物を乱用しても、個人の問題だから他人には迷惑がからないですよね？

A 薬物乱用により正常な判断ができなくなり、運動機能が麻痺したり幻覚・妄想に襲われるなど、心神喪失の状態での事故・事件が数多く引き起こされています。

また、薬物乱用を続けるためにお金が必要になり、さらに犯罪に手を染めるケースも増えています。

「自分さえ良ければいいや」という安易な考えは絶対にやめましょう！

薬物に関するご相談は

最寄りの保健所〔地域振興局健康福祉(環境)部〕
精神保健福祉センターへ

■ 一般相談
■ 啓発資料・DVDの貸出し

